

農業経済学特論演習Ⅱ (2単位)

担当者氏名

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

マーケティングリサーチをはじめとした社会で広く利用される統計手法および数理計画法の習得をテーマとし、学術的評価にも耐えうる統計学の分析手法習得を目指す。本講義は大きく 3 つのテーマに沿って進められる。①社会調査データの統計分析手法理解のための基礎知識の習得、②社会調査手法の習得、③統計分析手法の習得について大学院生自らが理論と研究課題を探索できるように、担当教員との論議を中心に講義を展開する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

統計学 _____ オペレーションズリサーチ _____ 計量経済学 _____ 社会調査法 _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	イントロダクション	・社会科学的研究と統計手法の関係について学習。	本授業のねらいは、統計学の理論と分析方法を習得し、大学院生自らが学術研究としての評価に耐えうる分析を行える水準にブラッシュアップすることをねらいとしている。各手法の農業経済学分野での応用例を既存研究からも取り上げるため、学術論文を読みこなせるよう努力することも求める。
2	統計学の基礎知識	・記述統計および推測統計の基礎を学習。	
3		(第 2~3 週)	
4	社会調査法	・標本抽出の方法および調査手法について学習。	
5		(第 4~5 週)	
6	コンセプト探索シミュレーション	・マーケティングリサーチの統計手法を学習。	
7		(第 6~7 週)	
8	消費者商品選択モデル	・ロジットモデルによる選択実験について学習。	
9		(第 8~9 週)	
10	産業立地モデル	・ハフモデルおよび MCI モデルについて学習。	
11		(第 10~11 週)	
12	金融モデル	・与信スコアリングモデルについて学習。	
13		(第 12~13 週)	
14	公共サービスの供給モデル	・社会保障サービスの供給モデルについて学習。	
15	デル	(第 14~15 週)	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

テキストは講義にて配布予定。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

『心理学のためのデータ解析テクニカルブック』／森敏昭・吉田寿夫編著／北大路書房 (2002)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

各講義で出題されるレポートで評価する。

◆その他受講上の注意事項

講義中にも簡単な計算を行うので、電卓を持参のこと (関数電卓は必要ない)。